

2019年大阪会合 ニッポンクラウドワーキンググループ

2019年6月7日

名称

ニッポンクラウドワーキンググループ
NIPPON Cloud Working Group (N C W G)

設立

2011年 11月1日 設立/活動開始

但し、実質的な活動については、2010年11月1日から前身の会である「ニフティクラウドワーキンググループ」として1年間活動を行いました。

ニッポンクラウドワーキンググループ参加構成 (2019年6月時点)

- メンバー企業 88社
- サムライクラウドサポーター 6人
- 協賛企業 21社

ニッポンクラウドワーキンググループ設立趣旨趣意

情報を繋ぐということがコンピュータ(computer)をコンピューティング(computing)へと昇華させたことで、サーバコンピュータやソフトウェアは、オンプレミスな「所有」から必要な時に必要なだけを「利用」するクラウドへとある種のパラダイムシフトを起こしていると言っても過言ではありません。この必要な時に必要なだけを利用できるということが、「クラウドコンピューティング」だといえます。

現在、各種のクラウドサービスは、サービス提供者から個別にサービスを提供されるのが一般的です。そのため利用者は、サービスごとに接続情報を個別に管理する必要があり、サービスを横断的に利用しづらいことで利便性を欠いていると言えます。その結果、利用者がクラウドサービスを利用することへのハードルを上げているともいえます。

そこで、ニッポンクラウドワーキンググループ(略称、NCWG)は、日本国内のISV(独立系のパッケージソフトウェアの開発・販売会社)やSier(System Integrator)、および関係各社が集まり各種の業種業態に対してニュートラルな立ち位置から「クラウド」上での国産アプリケーションの評価、連携のための技術的およびビジネス的な交流を積極的に行

うことで、**日本から発信できるアプリケーションプラットフォーム(サムライクラウド)を作り上げ、それを推進力に日本のクラウドビジネスのマーケットを広げることを目的**に設立することになりました。

ニッポンクラウドワーキンググループが前身の団体から進めている**「サムライクラウド」**では、ID、UI (User Interface)、データの三位一体連携による透過的なプラットフォームを実現することで、利用者にとってシームレスなクラウド環境を提供するとともに、サムライクラウドを基軸に様々なサービスに対して**ニュートラルな立ち位置**が

らあまねくクラウドサービスとの連携を視野に入れた全てのクラウドサービスの統合クラウド、すなわち**「グランドクラウド」**の実現を目指しています。

また会の名称にあえて作業部会的なイメージの「ワーキンググループ」を使う趣旨としては、我々ニッポンクラウドワーキンググループが、「日本のクラウドビジネス全体の作業部会」として日本のクラウドビジネスのマーケットの拡大に貢献するために実のある活動をして行きたいと設立者一同が強く望んでのことであり、その強い思いを会の名称に盛り込んでのことでです。

設立に伴いニッポンクラウドワーキンググループは、協賛各社の方々からご支援をいただいておりますが、あくまでもニュートラルな立ち位置から日本のクラウドビジネスの促進を目指して活動を行うものです。ニュートラルな立ち位置だからこそ出来ること、さらにニュートラルな立ち位置でなければ出来ないことが在ると考えています。このような目的のもとにこの度ニッポンクラウドワーキンググループを設立いたします。

「サムライクラウド」構想について



日本から発信できるクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」



IDやアプリケーション、UI、DATA連携などの技術的意義としての「サムライクラウド」

ニッポンクラウドワーキンググループ 2019年度スローガン

Beyond the Clouds !

『ムスビ(結)で実を活かす！』

ニッポンクラウドワーキンググループが結びの場となり、クラウドの先にある様々なモノゴトを結び合わせ(繋がりあい)、さらに個々の強みを相互に相乗的に活かすことにより、クラウドサービスの利便性の向上と日本のクラウドビジネスのマーケットの拡大に努める！

活動の結果としての成果(結実)を出し、クラウド業界をさらに活況なものとする。

NCWGについて

目的

日本のクラウドビジネスマーケットの拡大

- ・アプリケーション連携技術の開発・共有（サムライクラウド）
- ・日本から発信できるクラウドビジネスモデル（サムライクラウド）の構築
- ・クラウドビジネス促進のための場創り

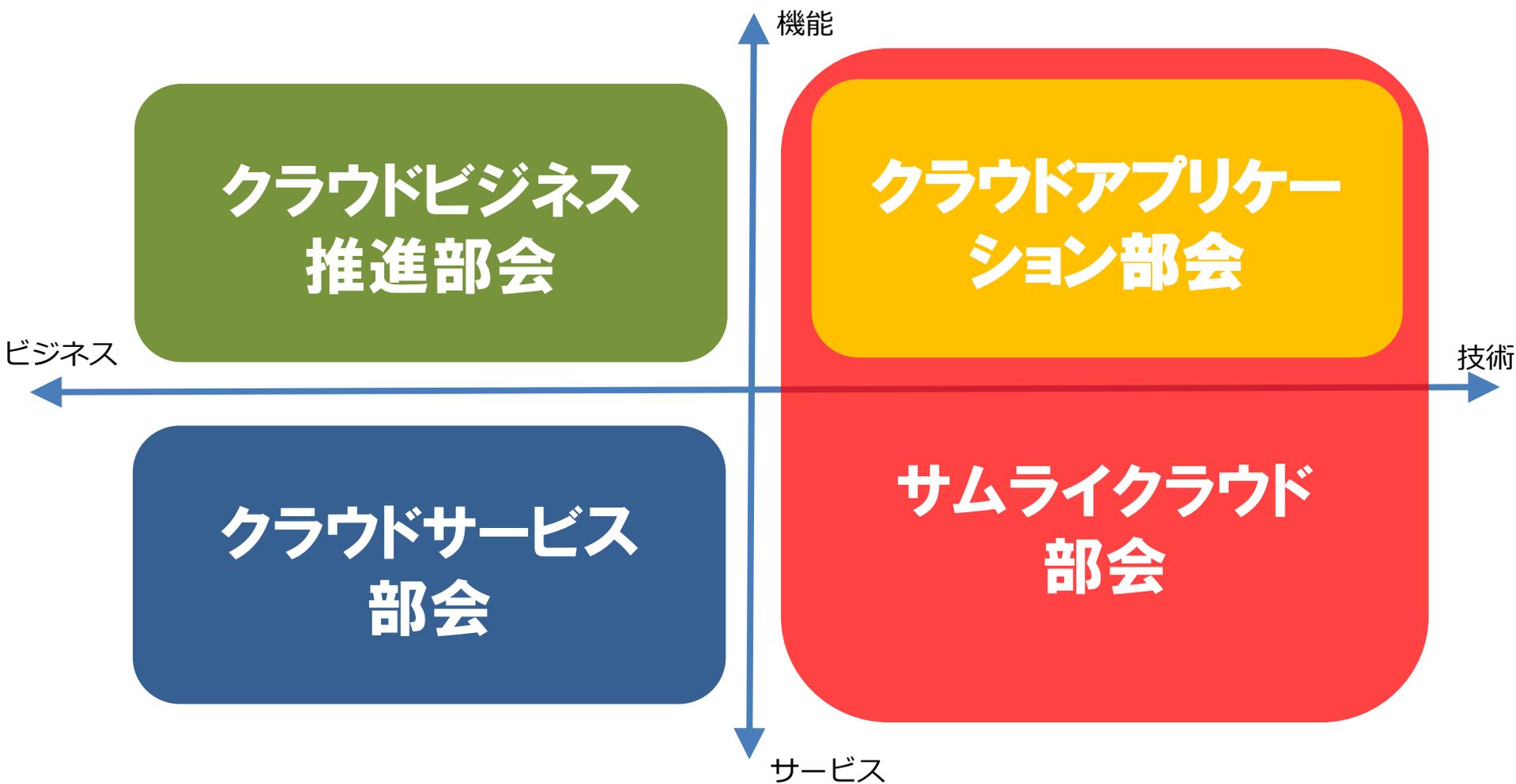
グランデッドクラウドからグランドクラウドの実現へ

- ・あまねくクラウドサービス、さらにオンプレミスな環境までをも取り込んだ「統合クラウド環境（グランドクラウド）」の実現
- ・ベンダーニュートラルな立ち位置での活動及び提言
ベンダーニュートラルだからこそ「やれること、やるべきことがある」

研究部会活動

- ・サムライクラウド部会
- ・クラウドビジネス推進部会
- ・クラウドアプリケーション部会
- ・クラウドサービス部会

■ 部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出

1. 定期的な会合開催
2. 部会活動
 - サムライクラウド部会
 - クラウドアプリケーション部会
 - クラウドビジネス推進部会
 - クラウドサービス部会
3. NCWG支援セミナーの実施
4. クラウドビジネスのための協業支援
5. 他団体との交流及び支援
6. 各種クラウド知識取得のための教育活動
7. 「サムライクラウド」の啓蒙活動
8. クラウドビジネス促進のための「場」作りの促進
9. 理事会および運営委員会、実行委員会開催

会合およびセミナー等の風景



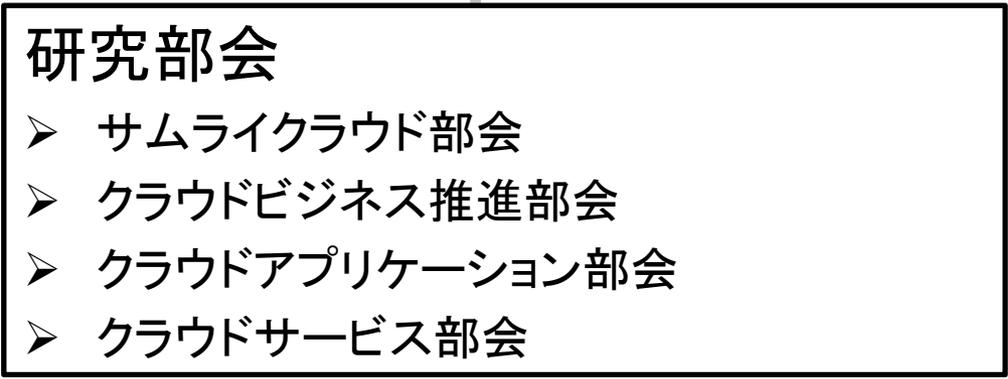
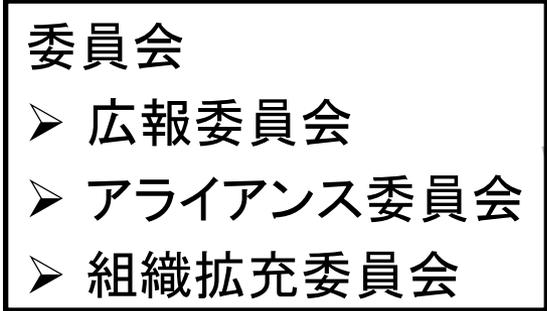
NCWG報告会及び設立6周年記念講演会・パーティ



NCWG報告会及び設立7周年記念講演会・パーティ



NCWG組織図



➤ 2019年度役員および理事

会 長	小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)
副会長	藤田浩之(株式会社オレガ)
副会長	野元恒志(有限会社ディアイピィ)
理 事	尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)
監 事	大澤武史(株式会社クリエイトラボ)
事務局	尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)

➤ 研究部会 部会長

■ サムライクラウド部会

部会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)

■ クラウドアプリケーション部会

部会長 尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)

■ クラウドビジネス推進部会

部会長 藤田浩之(株式会社オレガ)

■ クラウドサービス部会

部会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)

2018年度実行委員

株式会社アルティネット	宮原 哲也
株式会社エイチ・ピー・エス	三上 智親
NOS株式会社	長久保 純也
エヌ・ティ・ティ・スマートコネク株式会社	宮崎 秀人
株式会社オープンウェブ	尾鷲 彰一/鈴木 淳史
株式会社オレガ	藤田 浩之
株式会社クリエイトラボ	大澤 武史/内田 龍 横手 広樹/水木真一
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
データリンクス株式会社	木村 翠
株式会社ドヴァ	井口 和彦
株式会社クオリティア	佐々木 泰
株式会社北斗システムジャパン	小堀 吉伸

2019年5月現在 12社(16人)

1. 株式会社アイロバ
2. 株式会社アーク情報システム
3. 株式会社蒼空
4. AXLBIT株式会社
5. アクロニス・ジャパン株式会社
6. アシアル株式会社
7. 株式会社アスペックス
8. アドソル日進株式会社
9. 株式会社アラタナ
10. アルゴブレイン株式会社
11. 株式会社アルティネット
12. 株式会社イージェーワークス
13. イナゴ株式会社
14. 株式会社インターファクトリー
15. 株式会社インフォザイン
16. 株式会社エアー
17. 株式会社エイチ・ピー・エス
18. 有限会社エイト
19. 株式会社HDE
20. 株式会社エスエーピー
21. SMBアソシエイツ株式会社
22. 株式会社エスプリ
23. NOS株式会社
24. 株式会社エムキューブ・プラスハート
25. オプコ株式会社
26. 株式会社オープンウェブ
27. 株式会社オレガ
28. 株式会社オレンジソフト
29. カームコンピュータ株式会社
30. 株式会社カラーチップス
31. 株式会社ギデオン
32. 株式会社クオリティア
33. 株式会社クリエイトラボ
34. 株式会社ココト
35. コネクト株式会社
36. 株式会社ゴーガ
37. 株式会社サーバーワークス
38. サイオステクノロジー株式会社
39. 株式会社サテライトテクノロジーズ
40. 株式会社JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズ
41. ジェイズ・コミュニケーション株式会社
42. 合同会社Georepublic Japan
43. ジグソー株式会社
44. 株式会社システムフレンド
45. シックス・アパート株式会社
46. 株式会社シムトップス
47. 株式会社スカイアーチネットワークス
48. 株式会社 スクロール360
49. スターティアラボ株式会社
50. 株式会社セシオス
51. TOWN株式会社
52. ターボシステムズ 株式会社
53. 中央システム株式会社
54. ツバイソ株式会社
55. 株式会社DTS
56. 有限会社ディアイピィ
57. 株式会社データ変換研究所
58. 株式会社ドヴァ
59. 株式会社ニッコム
60. 日本クラウドファイリング株式会社
61. 日本シー・エー・ディー株式会社
62. 株式会社ニューフォリア
63. ネオス株式会社
64. 株式会社ねこじゃらし
65. ネットエージェント株式会社
66. 株式会社ネットフォレスト
67. ネットワンシステムズ株式会社
68. ハマゴムエイコム株式会社
69. ハミングヘッズ株式会社
70. ファイルフォース株式会社
71. 株式会社ブリッジ
72. Fullon株式会社
73. 株式会社FLAMA
74. 株式会社プロキューブ
75. 株式会社ブロードバンドセキュリティ
76. 株式会社ベッコアメ・インターネット
77. 株式会社北斗システムジャパン
78. 北陸通信ネットワーク株式会社
79. 株式会社マインド
80. 株式会社マキシマイズ
81. 株式会社ムービット
82. MOST株式会社
83. 株式会社ユーエスイー・ビジネスソリューション
84. 株式会社ユニリタ
85. 株式会社リザーブリンク
86. 株式会社ROCKETWORKS
87. 株式会社レイコム
88. 和丘株式会社
89. 早稻田システム開発株式会社

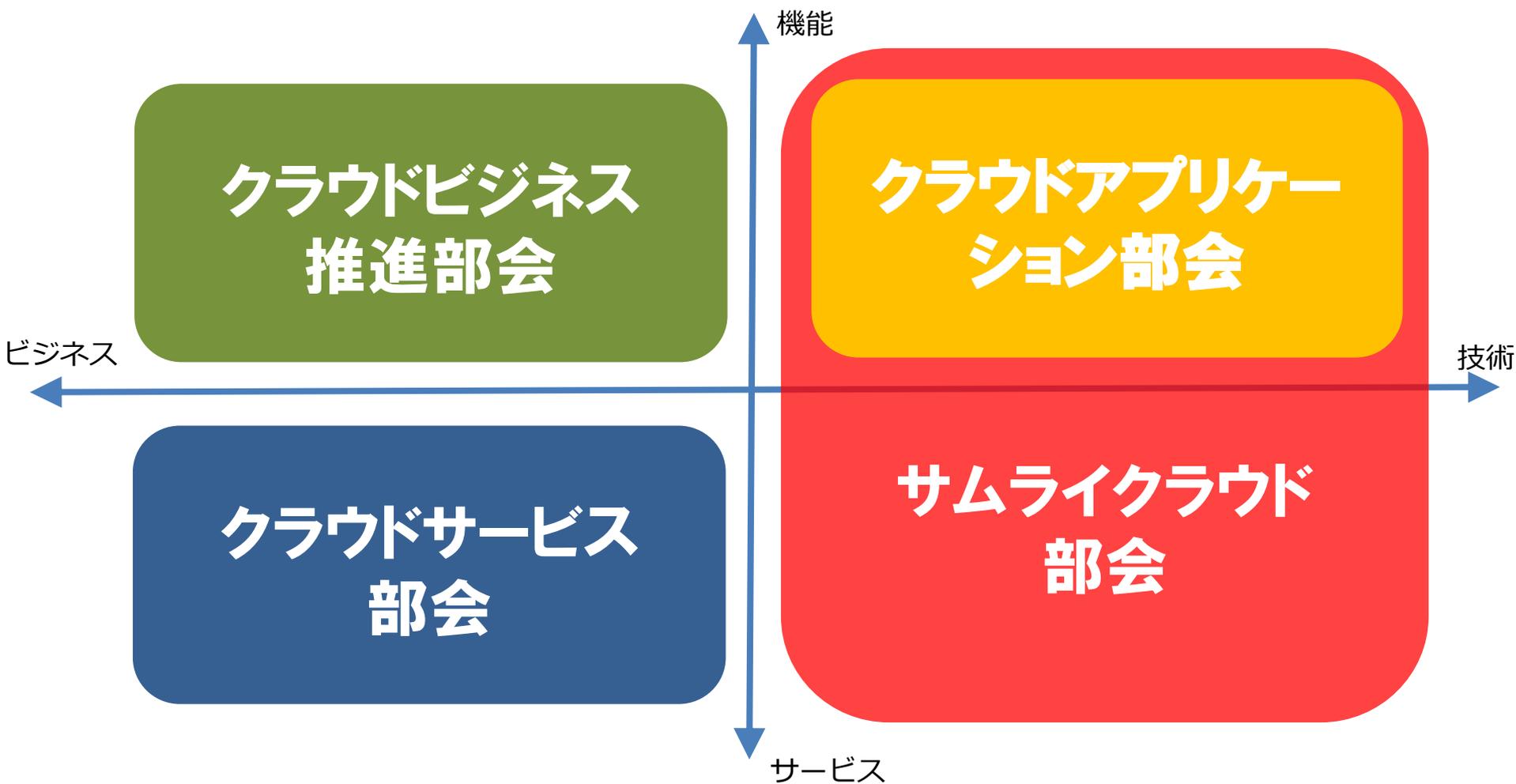
★サムライクラウドサポーター

- 情報セキュリティ大学院大学 学長 後藤 厚宏
- 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター客員研究員 林 雅之
- 学校法人岩崎学園 情報科学専門学校 教務部長 川上 隆
- 学校法人岩崎学園 情報科学専門学校 務部 課長補佐 武藤 幸一
- 大阪大学 大学院 理学研究科 准教授 鈴木 譲
- 次世代宇宙システム技術研究組合 代表理事 山口 耕司

1. GMOクラウド株式会社
2. NTTコミュニケーションズ株式会社
3. 株式会社インターネットイニシアティブ
4. 富士通クラウドテクノロジーズ株式会社
5. 株式会社IDCフロンティア
6. カゴヤ・ジャパン株式会社
7. at+link
8. スリーハンズ株式会社
9. 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
10. ビッグロブ株式会社
11. 株式会社フューチャースピリッツ
12. 株式会社ブロードバンドタワー
13. ビットスター株式会社
14. スターティア株式会社
15. 株式会社シーイーシー
16. さくらインターネット株式会社
17. NTTスマートコネクト株式会社
18. 西日本電信電話株式会社四国事業部
19. 株式会社クララオンライン
20. 株式会社 アット東京
21. 富士通株式会社

各 部 会 紹 介

■ 部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出